

G I G Aスクール構想との施策連携の可能性について

1 板橋区におけるG I G Aスクール構想の実現に向けた現状について

板橋区においては、国が示しているG I G Aスクール構想に基づき、令和2年度に板橋区スマートスクールプロジェクトを策定し、区立小・中学校に一人一台パソコンの配備と高速大容量通信ネットワークの整備を行った。

一人一台パソコンの配備は令和2年度中に完了し、高速大容量通信ネットワークの整備も令和3年8月末で完了したことにより、令和3年9月からは一人一台パソコンを活用した学習が本格的に開始されている。

一人一台パソコンの本格活用開始から約1年が経過している現状においては、協働学習アプリやA Iドリルの活用が大きく広がっており、個別最適な学びと協働的な学びの充実が図られている。

また、令和3年度からI C T支援員による支援回数を拡充したことにより、各校の要望に沿ってきめ細かな支援を実施することができている。

さらに、新型コロナウイルス感染症の影響等により登校できない児童・生徒に向けてオンライン授業等を実施しており、児童・生徒の学び保障につながっている。

2 授業以外の場面における一人一台パソコンの活用について

(1) 学校・保護者等間における連絡手段のデジタル化の推進

学校・保護者等間の情報共有の迅速化と双方の負担軽減を図ることを目的に、学校・保護者等間における連絡手段のデジタル化を推進している。

具体的には、一人一台パソコンに導入されているアンケートツール「G o o g l e フォーム」を活用することにより、これまで連絡帳や電話連絡で行っていた「欠席・遅刻連絡のデジタル化」を図った。

また、一人一台パソコンに導入されているコミュニケーションツール「G o o g l e クラウドルーム」を活用し、保護者等への連絡やプリント等の配付を児童・生徒の一人一台パソコン上で行うことによりデジタル化の推進に取り組んでいる。

(2) まなぼーと・あいキッズ・フレンドセンター・図書館における活用

区立施設のまなぼーと・あいキッズ・フレンドセンター・図書館に、一人一台パソコン専用Wi-Fiの整備を行うことにより、学校や家庭以外の場所においても一人一台パソコンの活用が可能となっている。

これにより、児童・生徒がまなぼーとやフレンドセンター等の学校以外の場所においても、一人一台パソコンを活用した学習や授業配信を受けることができている。また、あいキッズや図書館等の家庭以外の場所においても、一人一台パソコン上で課されている宿題等の課題に取り組むことができている。

(3) 教育科学館事業における活用

教育科学館において、小・中学生を対象に科学系工作や実験を行う教室を開催しているが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため定員を半分程度にして実施している。

このような状況下においても、動画配信や科学に関する記事の配信を行うことにより、小・中学生が一人一台パソコンを通して科学に触れることのできる機会を確保している。



(参考) 教育科学館 YouTube チャンネル

(4) エコポリスセンター事業における活用

エコポリスセンターが実施している環境学習事業の出前授業は、区立小・中学校等に講師を派遣することで実施していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により講師を派遣することが困難である場合等において、一人一台パソコンに導入されているビデオ通話ツール「Google Meet」を活用し、講師と学校をオンラインでつなぐことにより事業を実施した。



(参考) オンライン出前授業の様子

(5) (公財) 板橋区文化・国際交流財団事業における活用

(公財) 板橋区文化・国際交流財団が、クラシック音楽のアウトリーチ事業をGIGAスクール環境を活用することにより実施した。

新型コロナウイルス感染症の影響により、従来のような体育館における集合形式での実施ができない中で、一人一台パソコンに導入されているビデオ通話ツール「Google Meet」を活用し、音楽室や体育館と各教室をオンラインでつなぐことにより事業を実施した。



(出典) 板橋区文化・国際交流財団公式ツイッター